

◎第6回理事会(39.11.20)出席者:福田会長,大石,好井両副会長,羽田専務理事,伊藤,板倉,内田,岡崎,春日屋,粕谷,近藤,嶋,樋浦,前沢,松尾,渡辺の各理事,小林,武内の両監事。議事録署名理事:福田会長,羽田専務理事,粕谷理事。A.報告事項:1)会計報告。2)刊行物頒布報告。3)各種委員会報告。4)その他。協議事項:1)軽量骨材実験研究受託条件について羽田専務理事より説明があり原案どおり決定。2)岩盤力学委員会「工事報告川俣アーチダム編集小委員会」設置について羽田専務理事より説明があり原案どおり決定。3)文部省科学研究費等分科会委員候補者推薦について。4)その他。5)委員の委嘱について。

①原子力土木技術委員会

委員兼幹事 上山 惟康(東京電力建設部)
委員 島津 公一(三井建設土木技術部)

②岩盤力学委員会

常任委員 佐々木博敏(東京電力アサ川水力建設所)

◎各種委員会

(1) 会誌編集小委員会(39.10.2)出席者:樋口副委員長,ほか7名。議事:1)49巻11号登載原稿について。2)49巻12号編集の件。3)その他。

(2) 創立50周年記念出版 大正以降日本土木史編集委員会(39.10.12)出席者:青木・金子正副委員長,佐藤記念出版委員長,ほか15名。議事:1)編集作業進捗状況報告。2)今後の編集作業進行予定について。3)原稿料支払の件。4)年表,文献,索引について。5)部門の変更について。6)総合題目について。7)その他。

(3) 論文集部会長会(39.10.14)出席者:三木副委員長,ほか7名。議事:1)各部会報告。2)論文集第113号,第114号登載原稿について。3)討議欄の新設について。4)その他。

(4) 岩盤力学委員会小委員会「工事報告川俣アーチダム」編集打合せ(39.10.20)出席者:関係者10名。議事:1)編集小委員会の構成。2)執筆部門および執筆者の決定。3)ページ数の配分。4)執筆上の注意事項の確認。5)原稿締切日の確認と今後の作業スケジュールの検討。

(5) 海岸工学委員会(39.10.21)出席者:本間委員長,ほか17名。議事:1)

第11回海岸工学講演会について。2)海岸工学国際会議について。3)英文論文集発刊について。4)その他。

(6) 会誌編集委員会「回顧と展望」調整会(39.10.23)出席者:樋口副委員長,ほか3名。議事:49巻12号登載「回顧と展望」の原稿調整。

(7) 高校土木教育研究委員会臨時幹事会(39.10.24)出席者:福田委員長,八十島幹事長,ほか13名。議事:1)わかり易い土木講座(仮称)刊行について。2)その他。

(8) 会誌編集委員会「回顧と展望」調整会(39.10.24)出席者:樋口副委員長,ほか3名。議事:49巻12号登載「回顧と展望」の原稿調整。

(9) 海外連絡委員会第2回幹事会(39.10.27)出席者:徳善委員長,高橋幹事長,羽田専務理事,ほか8名。議事:1)英文年報1965年版の編集方針について。2)外国人名誉会員推挙内規について。3)米国土木学会との客員サービスについて。4)国際会議について。

(10) 会誌編集委員会懸賞論文審査会(39.10.27)出席者:八十島・樋口正副委員長,ほか6名。議事:「創立50周年記念特集号」記念懸賞募集論文の審査について。

(11) 水理委員会幹事会(39.10.27)出席者:石原委員長,ほか15名。議事:1)水理講演会プログラムの審議。2)第2回夏期研修会開催計画案の審議。3)水理学研究に関する長期計画について。4)委員交代の件。

(12) 大学土木教育委員会第17回幹事会(39.10.30)出席者:米屋委員長,嶋幹事長,ほか9名。議事:1)シンポジウムについて。2)その他。

(13) 会誌編集委員会(39.10.30)出席者:八十島・樋口正副委員長,ほか15名。議事:1)第50巻第1号よりの表紙について。2)映画コンクルの取扱いについて。3)第50巻第1号の内容について。4)マンスリー・トピックスの筆者交代の件。5)第50巻第2号の特集の件。

(14) 文献調査委員会(39.11.4)出席者:高橋委員長,ほか14名。議事:1)第50巻第1号登載抄録について。2)文献カードの出版について。3)解説記事について。4)担当雑誌について。

(15) 土木図書館運営委員会(39.11.4)出席者:米元委員長,千秋幹事長,ほか11名。議事:1)図書館規程および利用規定について。2)図書整備状況の報告。3)和書整備計画について。4)資料の整備方法について。5)図書館の開館に

ついて。

(16) 出版企画委員会幹事会(39.11.4)出席者:森・春日屋正副委員長,嶋幹事長,ほか5名。議事:1)第4回委員会報告。2)新規出版物について。3)その他。

(17) 大学土木教育委員会(39.11.5)出席者:米屋委員長,嶋幹事長,ほか14名。議事:1)委員長挨拶。2)シンポジウム報告資料について。3)討議。4)その他。

(18) 学術講演連絡委員会(39.11.7)出席者:林委員長,ほか7名。議事:1)昭和40年度年次学術講演会実施要領について。2)総合講演者選定について。

(19) 海岸工学論文編集小委員会(39.11.10)出席者:関係者10名。議事:第11回海岸工学講演集の編集について。

(20) 会誌編集委員会特集打合せ(39.11.11)出席者:八十島委員長,ほか3名。議事:会誌50巻第2号「海工特集」の編集について打ち合わせを行なった。

(21) 大学土木教育委員会第18回幹事会(39.11.12)出席者:米屋委員長,嶋幹事長,ほか6名。議事:シンポジウム報告書の最終的検討を行なった。

(22) 大学土木教育委員会講演者との打合せ(39.11.12)出席者:関係者10名。議事:シンポジウムについて打ち合わせを行なった。

(23) 大学土木教育委員会第19回幹事会(39.11.14)出席者:米屋委員長,嶋幹事長,ほか4名。議事:前回幹事会で未了のシンポジウム報告書の最終的検討を行ない,昭和39年度中間報告書原稿につき打ち合わせた。2)シンポジウムに対する意見について。

(24) 出版企画委員会(39.11.17)出席者:森・春日屋正副委員長,嶋幹事長,ほか10名。議事:1)第5回幹事会報告。2)新規出版物の進捗状況について。3)その他。

◎その他

(1) 土木系学生の会(39.10.22)出席者:芝浦工大,日本大,早稲田大,法政大,武蔵工大,都立大,中央大より関係者12名。議事:会誌学生欄編集について。

(2) 創立50周年記念 国土開発映画コンクール入選発表会(39.10.30)出席者:福田会長,羽田専務理事,ほか受賞8団体代表200名。記事:羽田専務理事より審査経過報告,会長より賞状ならびに賞品授与,入選映画6編上映。

(3) 創立50周年記念式典(39.11.

6, 東京文化会館小ホール) 記事: 本文参照。

(4) 創立 50 周年記念 祝賀会 (39.11.6, 上野精養軒) 記事: 本文参照。

(5) 創立 50 周年記念 講演会 (39.11.7, 東京文化会館小ホール) 記事: 本文参照。

(6) 創立 50 周年記念 都内見学会 (39.11.8) 記事: 本文参照。

(7) 創立 50 周年記念 東海道見学会 (39.11.9~10) 記事: 本文参照。

(8) 土木系学生会幹事会 (39.11.12) 出席者: 芝浦工大, 中央大, 関東学院大, 東京大, 早稲田大, 法政大, 武蔵工大より関係者 11 名。議事: 1) 運営方針について。2) 講演会の企画について。

支部だより

◎北海道支部

(1) 第 5 回幹事会 (39.10.28, 札幌市民会館) 出席者: 北郷幹事長, ほか 8 名。議事: 1) 50 周年記念巡回映画会の対策。2) 通俗講演者の選出。3) 国鉄新幹線講演会開催について。4) 技術資料第 21 号原稿執筆の推進について。5) 技術資料編集方針について。6) 年次研究発表会, 講習会対策。7) 支部規定一部改正について。8) 土質工学会との共催行事について。9) 支部収入の予算経過ならびに今後の対策について。

(2) 創立 50 周年記念巡回映画会(39.11.10, 札幌自治会館) 入場者数: 550 名
開会挨拶: 北郷幹事長
講演: 北海道の開発と建設事業
富士セメント顧問 (前北海道開発局長)
小川 謙二

映画: 1) 名神高速道路の舗装 2) 羽田海底トンネル 3) 銀座の地下を掘る 4) 東海道新幹線

超満員盛会裡に終始 ついで釧路市においてつぎのとおり開催

(3) 創立 50 周年記念巡回映画会(39.11.11, 釧路市公民館) 入場者数: 300 名
開会挨拶: 西堀幹事

映画: 前項札幌市と同じほか, 開発局制作による「橋」を上映, 好評盛会であった。

◎東北支部

(1) 見学会 (39.11.5~6)

行程: 11 月 5 日秋田駅発 (13.00)~寒風山~八望台~入道岬~秋田温泉 寿月荘 (懇親会); 11 月 6 日宿舎発~農林省干拓事務所~南部干拓事務所見学~北部干拓

事務所見学~秋田駅解散 (13.00)

参加者: 27 名

八郎潟北部干拓事務所を見学する一行



(2) 創立 50 周年記念巡回映画会(39.11.12, 日出会館) 入場者: 400 名 (対象者を存仙中学校とす)

開会挨拶 13.00~13.10

講話 13.10~13.45

映画 13.45~15.45

閉会 16.00

映画: 1) 銀座の地下を掘る 2) 躍進 3) 横山ダム工事 4) 東海道新幹線

◎関東支部

矢木沢ダム見学会 (39.10.27)

記事: 快晴の日和に恵れて水上駅前 10 時 30 分に集合, 水資源公園のご厚意によるバス 3 台に分乗した参加者 60 名は奥利根渓谷の紅葉を觀賞, 途中東電藤原ダム, 須田貝ダムを車中より見学しながら 12 時矢木沢ダム工事現場に到着, 熊谷組のご好意による昼食後国建設所長望月邦夫氏, 副所長近藤邦二氏, 東電矢木沢発電所土木課長吉田幸氏ほか, 各氏のダムおよび発電所の計画および施工のご説明をきき現場を見学した。ダム高 130 m, 幅 402 m は現在平均の 100 m の高さまで上っているとのこと, 工事は最盛期と見受けられ薄曇りの空の下 6 m³ のコンクリートバケットが往復し蟻のごとく小さな人間と対照しダムの雄大, 整然さに心を引きしめられる思がした。ダム左岸道路路上にて記念撮影後 3 班に分れおのおのダム上流部, イコス工法によるしゃ水壁, パッチャー プラント付近および

記念撮影



80 000 kW 3 台の地下発電所 (現在鉄骨建家終り水車取付中) を 2 時間半にわたり見学 そのまま水上駅に直行 17 時に解散した。

水資源公園および東京電力 K K, 熊谷組の各位のご親切に厚く感謝する次第である。

施主: 水資源公園および 東京電力 K K
施行: K K 熊谷組

◎中部支部

(1) 研究発表会 (39.10.15, 名工大土木教室)

特別講演: 愛知県の土木事業について

講師: 愛知県土木部長 北村正二

参加者: 85 名

(2) 第 2 回役員会 (39.10.23, 桑名にて) 出席者: 井上支部長, ほか 40 名。議事: 1) 50 周年記念事業について。2) 12 月行事の見学会について。

(3) 第 3 回見学会 (39.10.30)

見学場所: 堀留橋建設工事 清水建設施工分の HW くい打施工

参加者: 75 名

(4) 第 6 回幹事会 (39.11.24, 大津橋会館) 出席者: 谷幹事長, ほか 20 名。

(5) 創立 50 周年記念巡回映画会(39.11.14, 金沢農業会館) 入場者: 80 名
開会挨拶: 井上支部長

講演: 金沢港の建設について

運輸省七尾港港湾工事事務所長
加藤 勝則

映画: 1) 横山ダム 銀座の地下を掘る 3) 東海道新幹線 4) 石川の四季

(6) 創立 50 周年記念巡回映画会 (39.11.27, 名古屋工業大学) 入場者: 870 名

開会挨拶: 井上支部長

講演: 拓く者への道

名古屋港管理組合 工業港建設事業部長
栗田 龜造

映画: 1) 横山ダム 2) 銀座の地下を掘る 3) 東海道新幹線 4) 大阪環状線

◎関西支部

(1) 第 4 回見学会 (39.10.4, 伊吹方面)

見学先: 名神高速道路, 醒ヶ井養鱒場, 関ヶ原古戦場, 伊吹山登山道路, 琵琶湖大橋

参加者: 78 名 参加費 500 円

(2) 奈良県における総合開発の諸問題についての講演会 (39.10.9, 奈良市庁別館)

共催：奈良県建設技術協会・土木学会
関西支部

題目と講師：

1. 奈良県総合開発の構想
奈良県土木部長 吉村貞次
2. 近畿の水問題について
近畿地建企画室長 川崎精一
代講 近畿圏整備本部調査官 藤野良幸
3. 名阪国道建設について
近畿地建奈良国道工事々務所長

倉橋天鏡彦
映画：2題 懇親会：春日野荘
参加者：226名 参加者：27名

(3) 道路照明および保安設備に関する研究会 (39.10.27, 大阪合同庁舎別館)

題目と講師：

1. 第二阪神国道の照明および保安設備について
近畿地建第二阪神国道工事々務所長 松尾寿一
2. 阪神高速道路西横堀川工区の照明設備について
阪神高速道路公団工務部長 野口勇二郎
副参事 岸田立夫
3. 名神高速道路の保安設備について
日本道路公団名神高速道路管理局技術部長 江崎健一郎

参加者：131名

(4) 学生のための映画会

- (第1回) 39.10.17, 大阪大学工学部
映画 4題, 参加者 65名
(第2回) ① 39.10.21, 神戸大学工学部
② 39.10.22, 明石工業高等専門学校

映画 4題, 参加者 265名
神戸大学 135名
明石工専 130名

(第3回) 39.10.24, 大阪工業大学
映画 7題, 参加者 255名

(5) モステルトマン教授講演会 (39.9.23, 京都大学工学部)

主催：土木学会水理委員会

後援：土木学会関西支部

参加者：30名

(6) 第2回商議員会 (39.10.28, 土木学会関西支部事務局) 出席者：山崎支部長, ほか常議員 15名, 評議員 8名, 理事 2名。

(7) 第6回幹事会 (39.10.28, 土木学会関西支部事務局) 出席者：山崎支部長, 松尾幹事長, ほか 12名。

(8) 役員移動

商議員 谷垣登志郎 佐賀県土木部長
へ転出, 後任商議員 小笠原二郎 兵庫県土木部計画課長
商議員 安山信雄 愛媛大学教授へ転出, 後任商議員 三笠正人 大阪市立大学助教授

幹事 松本幸憲 病氣療養のため後任幹事 多田政文 神戸水道局技術部工務課長

(9) 学生のための映画会

(第4回) 39.10.31, 大阪市立大学工学部

映画 7題, 参加者 54名
(第5回) 39.11.7, 京都大学土木総合館

映画 3題, 参加者 165名

(10) 学生見学会

(第1回) 39.11.8, 鉢伏山土取場, 神戸港内埋立現場見学会

神戸市埋立事業局鉢伏山土取現場, 輸送・積出状況, 埋立地区を見学
参加者 152名, 参加費 50円

(第2回) 39.11.14, 阪神高速道路工事, 大阪市地下工事見学会

阪神高速道路工事, 地下鉄工事を見学
参加者 68名, 参加費 無料

(11) 昭和39年度関西支部年次学術講演会 (39.11.15, 神戸大学工学部)

特別講演：瀬戸内の交通体系について
神戸市長 工博 原口忠次郎

一般講演：78題, 参加者 288名

(12) 第7回溶射技術講演および研究発表会 (39.11.19~21, 大阪市立工業奨励館)

共催：日本溶射協会・日本機械学会関西支部・金属表面技術協会関西支部

協賛：日本建築学会近畿支部・日刊工業新聞大阪支社・土木学会関西支部

講演 5題, 研究発表 10題, 実演, 展示
参加者 83名

(13) 創立50周年記念 東海道バス旅行見学会交歓会 (39.11.10) 記事：シルバー レストランにて参加者に歓迎の意を表した。参加者 約 50名

(14) 創立50周年記念巡回映画会 (神戸地区) 39.11.19

第1回 御影公会堂 参加者 630名

第2回 生田公会堂 " 350名

第3回 " " 300名

第4回 " " 100名
(京都地区) 39.11.20

第1回 伏見高校 参加者 370名

第2回 " " 200名

第3回 " " 230名
(大阪地区) 39.11.21

第1回 都島工高 参加者 750名

第2回 天王寺中学 " 280名

第3回 児童文化会館 " 60名
(大阪地区) 39.11.22

第1回 桜宮公会堂 " 170名

第2回 " " 80名

第3回 " " 50名

(15) 第7回幹事会 (39.11.27, 土木学会関西支部事務局) 出席者：山崎支部長, 松尾幹事長, ほか 9名。

◎中国四国支部

(1) 第7回幹事会 (39.8.20, 水野組広島事業本部会議室)

出席者：内田幹事長, ほか 5名。

議題：1. 国鉄新幹線の試乗について
2. 須磨開発工事見学について

3. 第16回支部学術講演会について
4. 第1回講演会について

(2) 第3回講演会 (39.9.14, 水野組広島事業本部大会議室)

題目および講師：新潟地震について
工博 金井修

参加人員：113名

(3) 第3回見学会 (39.9.18, 神戸市須磨区高倉町)

見学先：神戸市埋立事業局西部埋立工事

参加者：23名

説明者：神戸市埋立事業局 吉田 健

(4) 第1回講習会 (39.10.8~9, 水野組会議室)

題目および講師
(1) 擁壁に作用する土圧および擁壁の設計法について
広島大学工学部 助教授 門田博知

(2) コンクリート材料
中国電力総合研究コンクリート実験室主任 藤本洋一

(3) 路床路盤について
日本舗道広島支部 業務課長 物部幸保

(4) 橋梁下部工
中国地方建設局 構造部係長 沢井正寿
参加者：90名

◎西部支部

(1) 土木学会大会につき本部との懇談会 (39.10.16) 議事：本部より羽田専務らが出席し, 40年度大会につき支部の準備等につき打ち合わせを行なった。

出席担当機関：九州地建, 福岡県, 九州大学, 福岡市, 門鉄

および西鉄

(2) 支部映画会

39.10.31 九州大学 参加者 35名

39.11.14 " " 180名

39.11.17 熊本市九電別館 " 260名

39.11.19 富崎市県立図書館 " 70名

(3) 創立50周年記念巡回映画会 (39.11.25, 福岡市明治生命ホール) 入場者 370名

特別講演 九州大学教授 村上正

編集後記

昭和 40 年の第 1 号誌を「50 周年特集」という事で会員諸兄にお届けします。時間がたつのは早いものでこの特集の企画は昨年の夏前にはじまりました。内容の計画、主だった執筆者に集っていただいたの打ち合わせお願いの会などで日をすごしいつの間にか年の瀬がせまって来て、最後は脱兎のごとく校了、印刷、製本へと駆け込む次第、もう少し時間があれば、もっと良いものを、との毎度ながらの逃げ口上です。

ところで、この特集のためにすでに参加していただいた方が 30 名をこえています。学会外の方々もかなり含まれています。いずれもその途の見識も経歴も一流中の一流人で、その方々のために用意したページ数が何んと平均 1 ページ足らずという事になり、述べていただきたい事がどれだけ抑えられたか執筆者にも迷惑だし、読者も残念という所です。ことに編集に携ったわれわれは活字ならぬ身の千切られる思いです。せっかくの特集の内容をもっと突込んで

て研究を続けたら、との声も出ています。「これからの土木」はまさに皆の大問題ですが、われわれ編集に携わる者はそれを考えてはおりません。読まれた方々がそれぞれ将来への展開をお考えいただけませんか。別にわれわれは怠けたくていっているではありません、数ヵ月先の編集企画の事で、小さな脳ミソはすでに Over Load なのです。

(八十島・記)

昭和 39 年度土木学会誌編集委員

委員長	八十島 義之助		副委員長	樋口 芳朗		*印は幹事兼務	
委員	天野 礼二 菊川 哲士 土屋 昭 湯 浅 昭	浅谷 陽 治 斎 木 三 郎* 寺 尾 英 二	茨 木 竜 雄 渋谷 祥 夫* 原 田 信 昭	上 田 勝 基 城 野 忠 雄 豊 島 修	遠 藤 篤 康 高 橋 裕 南 部 繁 春	大久保 喜市 立 石 俊 一 中 村 正 平	小 坂 忠 玉 木 勉 町 田 富 士 夫
地方委員	(北海道支部) 菅原 照雄 河野 文弘	(東北支部) 三 浦 晃 阿 部 泰 夫	(関東支部) 渡 辺 健 番 二 郎	(中部支部) 酒 井 清 太 郎 増 田 重 臣	(関西支部) 赤 尾 親 助 畑 中 元 弘	(中四支部) 門 田 博 知 玉 井 敏 一	(西部支部) 小 坪 清 真 長 友 文 昭

新しい基礎工法の設計

首都高速道路公園理事 八 島 忠 編
工 学 博 士 中 島 武

B 5 判 420 頁 上製函入
定 価 2600 円 予 130 円

《本書の特色》

1. 水平方向の支持力まで含めた基礎の設計方法のすべてを網羅
2. 特殊工法を含めた各種基礎工法の設計が可能
3. 基礎工事の施工上の注意事項がわかる
4. 耐震設計、地盤改良工法にもふれ、あらゆる基礎工の設計に必要な

《本書の内容》

(1)許容支持力の求め方(2)許容変位量・杭本体の応力等の計算方法(3)計算例(4)細部設計例(5)実施例

新しい基礎工法

工学博士 中 島 武 編 B 5 判 255 頁
定価1500円 予100円

《こんなときに本書を読めば》

1. この地盤には、どんな基礎工法を採用すべきか。
2. 特殊の工法をすすめられた際、それに類似の工法があるかどうか調べたいとき。
3. ある新工法を見学したが、もうすこし内容を知りたいとき。
4. 設計の特記仕様書に〇〇工法によると出ているがその実際を知りたいと思うとき。
5. 各種の新しい基礎工法を常識として知りたいとき本書をお読み下さい。設計・工事監理者必携の技術書です。

● 主 要 目 次 ●

- 第1編 共通編 1章 調査 2章 設計 1節 杭 2節 井筒およびケーソン 3節 基礎の耐震設計
- 第2編 細目編 1章 既成杭 1節 遠心力コンクリート杭 2節 PCパイル 3節 鋼杭 4節 シートパイル
- 2章 場所打ちコンクリート杭 1節 掘削後コンクリートを打設する杭 (1)大径(2)中小径 2節 貫入後コンクリートを打設する杭 3章 特殊工法 1節 イコス工法 2節 プレキャスト杭工法 4章 ケーソン基礎 1節 空気ケーソン 2節 大貫式ケーソン 3節 ドームケーソン 5章 井筒基礎 6章 地盤改良 1節 ウェルポイント 2節 サンドドレーン 3節 コンポーザー 4節 バイプロフローテーション 5節 薬液注入工法 6節 ベーパードレーン

新しい基礎工法の歩掛と実績

中島 武・滝山 養 編 B 5 判 350 頁
定価2000円 予100円

《本書の特色》……本書を研究することによって(1)各種基礎工法の設計が可能。(2)各種基礎工法の見積り可能。(3)各種基礎工法の機械の選定が可能。(4)基礎工事の施工が計画的にできる。

近代図書株式会社

東京都千代田区神田錦町3の13番地
電話 (201) 1040 0795 振替東京 23801 番

会 員 入 退 会 に つ い て (昭 和 39.11.1~11.30)

入 会	117 名 (正 68 学 46 特 1.D 1 特 2 2)
退 会	9 名 (正 7 学 1 特 1.C 1)
死 亡	1 名 (正)
転 格	6 名 正→学 4 特 1.C→特 1.B 1 特 1.D→特 1.C 1

特 別 会 員 入 退 会

○入 会	昭和 39.11.26 特 1.D 萬城合資会社 名古屋市北区深田町 2-13
	" 39.11.13 特 2 東京大学工学部資源開発工学科図書室 東京都文京区本富士町 1
	" " " 東京農工大学附属図書館農学部分館 東京都府中市幸町 3-5-8
○転 格	昭和 39.11. 2 特 1.C→特 1.B 山宗化学KK 東京都中央区八丁堀 2-3
	" 39.11.26 特 1.D→特 1.C 日本電信電話公社電気通信研究所 東京都武蔵野市緑町 3-535
○退 会	昭和 39.11.10 特 1.C 創和測量工務KK 横浜市金沢区金沢町 213

会 員 現 在 数

名誉	正会員	学生会員	賛助	特級	特 1.A	特 1.B	特 1.C	特 1.D	特 2	合 計	(増)
56	16 123	2 420	30	18	15	50	230	354	40	19 336	(108)

正 会 員 正 田 茂 君 宮 城 県 土 木 部 河 港 課 昭 和 39.10.29 死 去 39 才

COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL. I	(1958)	B 5 判	147 頁	実費 250 円 (〒 共)
COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL. II	(1959)	B 5 判	122 頁	" 300 円 (")
COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL. III	(1960)	B 5 判	122 頁	" 500 円 (")
COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL. IV	(1961)	B 5 判	122 頁	" 700 円 (〒60円)
COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL. V	(1962)	B 5 判	162 頁	" 1200 円 (〒 共)
COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL. VI	(1963)	B 5 判	134 頁	" 1200 円 (")

支 部 所 在 地

北 海 道 支 部	札幌市平岸 北海道開発局土木試験所内 (電 札幌 83-4161)
東 北 支 部	仙台市北三番丁 124 建設省東北地方建設局企画室内 (電 仙台 22-4191)
関 東 支 部	東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会事業課内 (電 東京 351-5138)
中 部 支 部	名古屋市中区南外堀町 6 の 1 名古屋土木局道路建設課内 (電 名古屋 94-5511)
関 西 支 部	大阪市東成区中道元町 1 の 149 (電 大阪 981-2510)
中 国 四 国 支 部	広島市八丁堀 122 KK水野組内 (電 広島 21-5131)
西 部 支 部	福岡市渡辺通り 2 丁目 九州電力KK土木部内 (電 福岡 76-3031)

昭和 40 年 1 月 10 日印刷

昭和 40 年 1 月 15 日発行

土木学会誌 第 50 卷 第 1 号

印 刷 者 大 沼 正 吉	印 刷 所 株式会社 技 報 堂	東 京 都 港 区 赤 坂 溜 池 5 番 地
口 絵 製 版 印 刷 者 若 林 孟 夫	印 刷 所 若 林 原 色 写 真 工 芸 社	東 京 都 港 区 芝 金 杉 川 口 町 20 番 地
発 行 者 羽 田 巖	発 行 所 社 団 法 人 土 木 学 会	東 京 都 新 宿 区 四 谷 一 丁 目
定 価 400 円 (送 料 60 円)	振 替 東 京 16828 番	電 話 (351) 5130・5138・5139 番